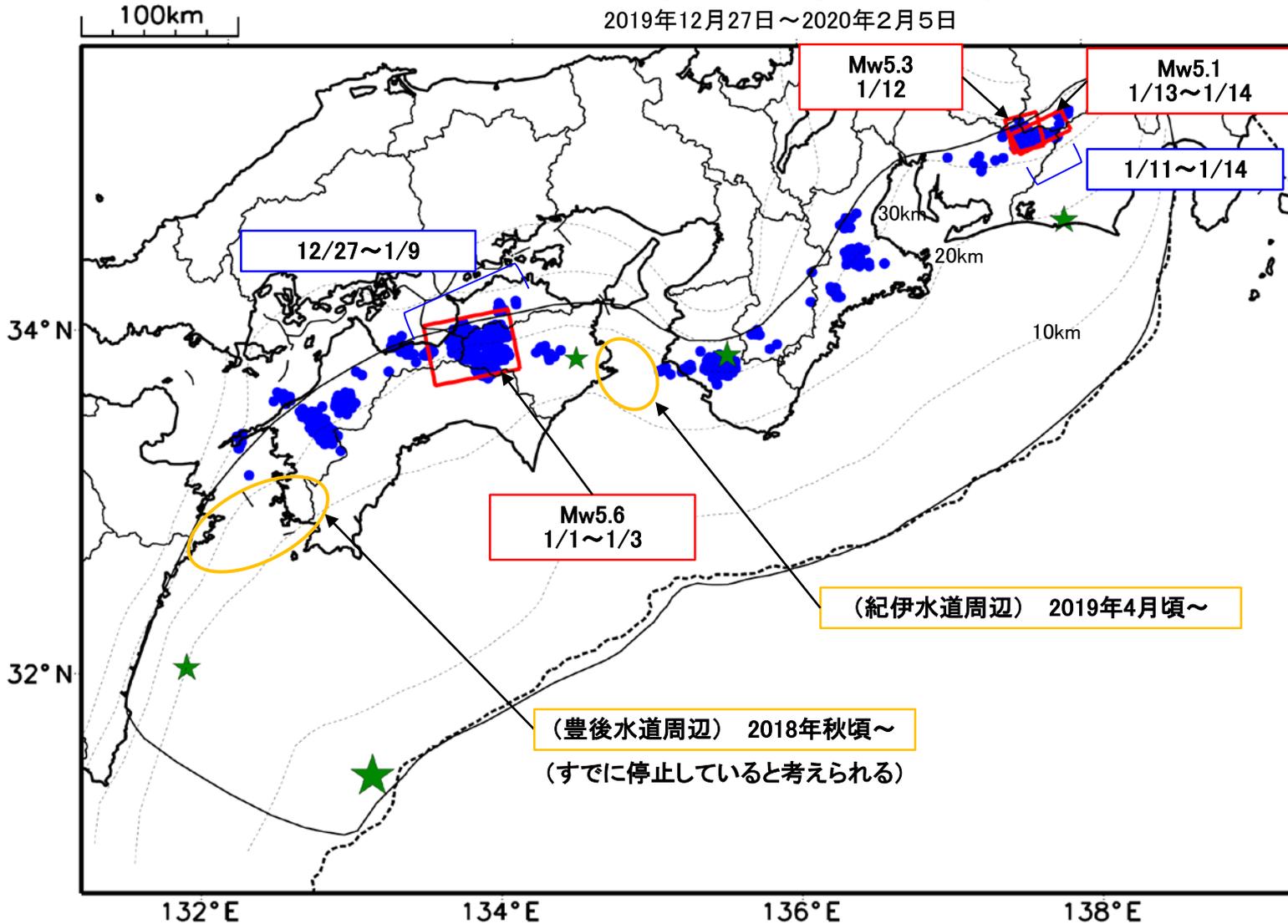


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年12月27日～2020年2月5日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリピン
海プレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果による。【四国東部から四国中部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり.....【豊後水道周辺、紀伊水道周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和2年1月1日～令和2年2月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
1/5	21:25	四国沖	-	4.4	1	フィリピン海プレート内部
1/20	08:46	和歌山県南部	52	3.5	2	フィリピン海プレート内部
1/22	18:52	徳島県南部	3	3.1	3	地殻内
1/23	06:09	日向灘	33	3.6	1	フィリピン海プレート内部
1/23	16:13	静岡県西部	34	3.7	2	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>12月28日～1月8日 <small>注1)</small> . . .</p> <p>(1)</p> <p>1月10日～12日</p> <p>1月16日</p> <p>1月19日～20日</p> <p>1月25日～26日</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■四国中部</p> <p>1月3日～5日</p> <p>1月12日</p> <p>1月28日</p> <p>■四国西部</p> <p>12月28日～1月6日</p> <p>1月8日</p> <p>1月11日～12日</p> <p>1月17日～18日</p> <p>1月26日</p> <p>1月30日～31日</p> <p>2月3日～4日</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>1月1日</p> <p>1月4日～6日</p> <p>1月17日</p> <p>1月20日</p> <p>1月22日</p> <p>1月27日～29日</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>1月4日</p> <p>1月7日</p> <p>1月9日</p> <p>1月15日～17日</p> <p>1月20日～21日</p> <p>1月30日～2月1日</p>	<p>1月9日</p> <p>1月11日～14日 . . . (2)</p> <p>1月19日</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を**赤字**で示す。

※上の表中（1）（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、12月27日から1月9日頃に四国東部から四国中部にかけて活発な微動活動が見られた。